

夢を語ろう!そうすれば 白ずと道は開かれる

スマイルデザインカンパニー

代表 松井 栄里さん
まつい えり

<PROFILE>
スマイルデザインカンパニー
■代表者/松井 栄里
■所在地/滋賀県草津市
■創業/2019年
■業務内容/グラフィックデザイン
(ロゴマーク・名刺・ショップカード・パンフレット・フライヤー・パッケージ・ノベルティ・WEBサイト)
■問い合わせ/matsuieri1021@gmail.com https://karuta.biz/

魂 起業家

結婚を機に京都から滋賀に移り住んで19年。ママさんグラフィックデザイナーとして、スマイルデザインカンパニーの代表を務める。地域密着で県内企業のWEBサイトやパンフレット、ロゴマークなどを制作する一方で、大人や子どもたちにも「滋賀への郷土愛を育んで欲しい」と「滋賀コレかるた」の企画・制作など、滋賀の魅力を伝える活動を実践中。「滋賀」に続いて「京都」「トコト」も制作。今後は大阪や他県のかかるた作りを目指すと共に、起業を志す人に向けて必要となるロゴやパンフレットなどのツール制作も行っている。自称・滋賀大好きグラフィックデザイナー。

1日8時間仕事をするなら、好きな分野で仕事をしたい

大学は文学部で、卒業後にある会社に就職したのですが、もともとグラフィックデザインに興味があったので、どうせ1日8時間仕事で過ごすのなら、好きな分野で8時間を過ごしたいと思い退職。最初はアルバイトでデザインの世界に入りました。

その後、この業界も機材やネット環境などが普及しフリーランスで働くデザイナーが急激に増えました。もともと独立志向があったのです



パンフレット制作の打ち合わせ

が、2018年頃、そのような社会的状況もあって「よし、時はいまと一念発起して独立を決意しました。

「滋賀には琵琶湖しかない」そうインプットされた私が間違っていた

学生時代や就職した職場に滋賀県出身の友だちがいたのですが、異口同音に「滋賀って、何にもないよ、琵琶湖しかあらへんよ」と聞かされていたんです。だから結婚を機に滋賀県に住むことになって、それは余り喜ばしいことではありませんでした。ところが実際に住んでみると、

大変暮らしやすいし、琵琶湖を始め自然が豊か、お城や神社仏閣など文化財も沢山あって、戦国時代が好きな私は「京都より魅力的やん」と思うようになったのです。事実、国指定の重要文化財の件数は全国4位、国指定の名勝は全国2位なんです。その時、私はもちろんです

が、滋賀の人も自分のふるさとのことをあまり知らないんだと思い、その魅力をなんとかカタチにして伝えたいと思い始めました。

*1 起業準備応援補助金で「滋賀コレかるた」が誕生

独立する前、草津SOHOビジネスオフィスで毎週一回開催される起業・創業相談会、通称「草津塾」に参加していたのですが、その中でプレゼンテーションをするという機会がありました。その時に考えたのが、我が家で子どもとよく遊んでいたかるた。県内の名所旧跡



かるたのイラストは松井さんが描いたもの

や特産品などを題材としたもので、これなら子ども大人も楽しみながら滋賀の魅力を伝えることができるというものです。プレゼン用に1枚の見本を作りました。

これが草津塾の方や他の塾生から大きな評価を得て、さらに「起業準備応援補助金」というものがあるから、実際に作ってみれば」と後押しを受け、早速申請の準備にとりかかりました。その際、産業支援プラザの職員の方には丁寧に、細かく申請書の書き方を教えてもらいました。おかげさまで申請が採択され、頂いた補助金でとりあ

えず試作品100個ができました。

試作のかるたは子どもが通っている保育園などで使ってもらい、子どもたちの反応や園長先生をはじめママ友からのアドバイスをもとに、再度修正を加え「滋賀コレかるた」が完成。商品化のための資金をクラウドファンディングで募り、それをもとに1,000個を製作し販売をスタートしました。

制作にあたりこだわったのは読み札。語数は最小限、子どもが好きなワードを使って

子ども向けのかかるたは沢山あるのですが、教材みたいなものが多い、子どもはあまり楽しくないみたいでした。そのため滋賀コレかるたは、子どもが喜んで遊べるように「じゃじゃーん」「くっさーん」「おっぱい」など、子どもが好きなワードを使い、語数はできるだけ少なくするなど読み札にこだわりました。また、各札には主題に関する解説をつけています。例えば「にんにん じゃじゃーん 甲賀忍者は 葉の術」という札には「甲賀忍者と は…」といった説明です。これを大人が読んであげること、子どもは滋賀県に関する知識を身につけていくだろうし、それがふるさと滋賀を誇りに思う郷土愛につながっていく、という考えです。

自分の思いや目標を語ろう。誰かが応援、道をつけてくれる

おかげさまで滋賀コレかるたは皆さんから評価を受け、保育園や幼稚園での「出



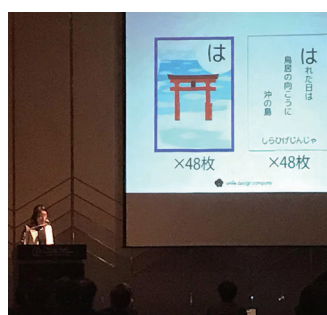
特製の大型カルタを使った「かけっこかるた」。子どもたちは絵札を取るために会場を元気に走り回る



神社などでの「かるた会」のイベントも行っている

張かるた会や「かけっこかるた」などのイベントも開催するようになりまし。また、かるたに出てくるキャラクターでトートバッグやTシャツ、缶バッジなどの商品も作って販売しています。

しかし、これまでの道のりは私一人で切り開いてきたものではありません。そもそも起業のきっかけとなった草津市の主催の起業セミナーへの参加は友人の誘い、滋賀コレかるたの試作は草津SOHOビジネスオフィスの「草津塾」の方や塾生が背



大津女性ビジネスコンテストでのプレゼンテーション

「いつでも、どんなことでも相談してね」というスタンスですから本当にお世話になっています。

いま、起業を考えているけど、どうすれば良いのかわからない人、迷っている人。そのような方は、まず自分の思いや目標を誰かに語りましよう。そうするといろいろな人がアドバイスをくれたり、目標達成への道をつけてくれます。

*2 草津SOHOビジネスオフィス

起業して間もない事業者の活動拠点として滋賀県が設置した創業支援施設。起業・新事業を支援する専門家インキュベーション・マネジャー（IM）が常駐し、様々な相談や困りごとに対応しています。

*1 起業準備応援補助金

県内の起業準備者や起業して間もない立ち上げ段階の方が、支援機関担当者の伴走支援を受けながら行う「事業化・市場化の道筋をつけるために必要な取組」に対して30万円を上限に補助金を交付するものです。令和3年度は、ポストコロナ社会に相応しい起業を支援するため、別枠が設けられました。

問い合わせ先

(公財) 滋賀県産業支援プラザ

経営支援部 創業支援課

☎ 077-511-1412

☎ 077-511-1418

✉ in@shigaplaza.or.jp